文芸しばた原稿記載例

再度ご確認ください

随筆・小説

部門は欄外に書く

本文の書き出しは８行目

段落を変える場合は、行を替え、一字あける

７行あける

題

名

氏

名

テープや紐（ひも）を織る工場が村のはずれに立っていた。

夏のある日、その会社の近くの石橋の上で、三平と金太郎が出会った。三平は一年生、金太郎は二年生だ。

ペンネームなど作品と一緒に載せたい名前を記入する！

【注意】
ワープロやパソコンの場合も、縦書き、24字×20行を必ず守ってください。

最後で文が終わったらその脇に句読点をつける

記載する上での注意点

- カッコ（「」や『』など）を閉じる直前のマルは打たない。
- 会話の後に行を替える場合、行頭は一文字あける。
- 文章の余韻を表現するための点々は「……」（二マスに中黒が六個）。
- 心理描写の場合に（　）や〈　〉、「―」は使用してもよい。
- 「？」や「！」の後は一文字あける。
  ただし、その後すぐにカッコを閉じる場合はあけない。
- 「　」や『　』など、どんな種類であれ、カッコで始まる段落は行頭を一文字あけなくてよい。
- 句読点は欄の右肩に書く。
- 「　」も句読点も一字に数える。
- 難解な語句、固有名詞等には適宜ルビをつけてください。

詩

○部門は欄外に書く

７行あける

題

名

氏

名

黒い影

白い校舎の見える

ペンネームなど作品と一緒に載せたい名前を記入する！

○書き出しは、８行目から

短歌

○部門は欄外に書く

○一首一行か二行に書く

○一首ごとに一行あける

（　　）

部門の下に新仮名遣いか旧仮名遣いか明記してください。

4行あける

北国に満ちくる暮の光ながれ白木蓮のゆたに膨らむ

観音の慈しみのみ手顕たしめて木蓮今日を白くほころぶ

折ふしの風に木蓮遥るるにも今日の心は誘はれてゆく

題名氏名

ペンネームなど作品と一緒に載せたい名前を記入する！

俳句

○部門・題名・氏名は欄外に書く

○一行あける

○一句一行に書く

○一句ごとに一行あける

回遊の庭園を背に初点前

老松の芽吹き太古のいろ保てり

あやめ咲く池いにしへの彩を溶き

題名氏名

ペンネームなど作品と一緒に載せたい名前を記入する！

川柳

○部門・題名・氏名は欄外に書く

○一行あける

○一句一行に書く

○一句ごとに一行あける

大声であなたのタガを締めておく

これしきのドラマに目の縁赤くする

改善を求める首が振り遅れ

題名氏名

（題名をつけない場合は不要）

ペンネームなど作品と一緒に載せたい名前を記入する！